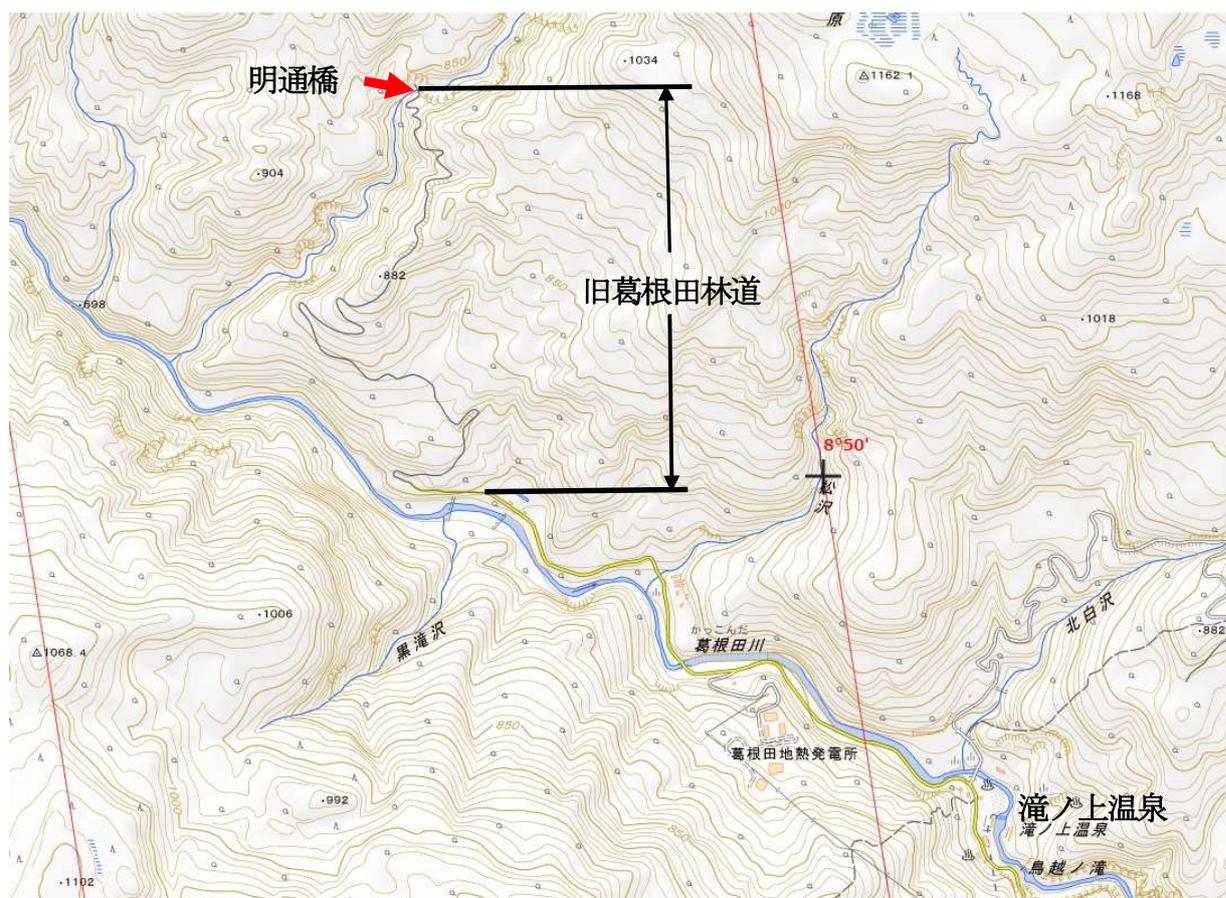


秋の自然観察会報告

1. 実施日 2020年10月10日(土) 7:15 - 14:40
2. 場所 旧葛根田林道エリア
3. 参加者 16名(会員外1名含む)
4. コース 滝のノ温泉から明通橋往復



5. 旧葛根田林道の経緯

- | | |
|-----------|---|
| 1984 | 葛根田林道に建設着手 |
| 1985 | 葛根田川源流部でブナ林の伐採始まる |
| 1986.9 | 盛岡山友会結成 |
| 1987.2.28 | 盛岡市で葛根田原生林シンポジウム開催・山友会参加 |
| 1987.3.28 | 「八幡平の葛根田ブナ原生林を守る会」結成大会・山友会参加 |
| 1987.10.3 | 林野庁が葛根田国有林伐採計画の凍結を発表 |
| 1991.4.1 | 「葛根田川・玉川源流部森林生態系保護地域」に林野庁設定(森林生態系保護地域全国第1号) |



写真1 1990年頃



写真2 2020年10月10日

6. 観察概要と感想

- ・ 伐採阻止運動の立役者である講師役の白藤さんの解説を聞きながら、滝ノ上温泉から旧林道に沿って「明通橋（あけどうしばし）」まで観察しました。
- ・ 30年余前、砂利が敷き詰められ、法面は地肌が露出していた林道（写真1）の面影はなく、両側からチシマザサ等が覆い、道端にはブナの幼木が多く見られました（写真2）。
- ・ 森が昔の姿に戻るには100年以上かかると言われましたが、伐採がストップして30年余で自然は見事によみがえってきていました。当時を良く知る白藤さん、中島さん（会員外参加：釜石労山）をはじめ一同、自然の力の強さに驚き感心しました。
- ・ 4.5 km進んだ尾根を越える地点が最高到達地点で標高880m、ここから1 km若下ったところが「明通（あけどうしばし）橋」。この橋は橋脚もしっかりしていて健在でした。
- ・ この橋で林道工事がストップされたため、この奥の森は伐採を免れました。
- ・ 今回の自然観察場所を含む岩手・秋田にまたがる9,391haは、「葛根田川・玉川源流部森林生態系保護地域」に指定され、入林は制限されています。しかし、学術研究や自然観察の場合は、「入林届」を林野庁に提出することで入林可能です。今回の自然観察会は「入林届」を提出して行われました。
- ・ 「八幡平の葛根田ブナ原生林を守る会」の活動により、林野庁が林業主体から「森林生態系保護」という新たな役割を果たすきっかけになったことを知りました。国の林野行政に大きな方針転換をもたらしたこと、山友会がその活動の一翼を担ったことを再認識する有意義な観察会となりました。